

**東日本大震災被災地
ボランティア募集(長崎教会管区)**
カリタスジャパン大槌ベースキャンプ
TEL 0193-55-5885
FAX 0193-55-5886
大槌ベースのブログは、長崎大司教区
ホームページからも見る事ができます。

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
下 岸 英 知
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095(843)3869 FAX 095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp
印刷所 株式会社 藤木 博 英 社
〒850-0852 長崎市万屋町5-13
TEL 095(821)2146 FAX 095(821)2148



**3月・教皇さまの
意向のために祈りましょう**
①一般の意向：女性の貢献
②宣教の意向：迫害されるキリスト者
③日本教会の意向：観想修道院の支援

1926年9月18日五島市生まれ、三井(当時)は岳教会出身。52年3月19日大浦天主堂にて司祭叙階。同年4月青砂ヶ浦助任、53年7月紐差助任、55年2月三浦町助任、同年6月大佐志助任、57年12月貝津主任、59年5月井持浦主任、63年2月桐主任、69年4月土井ノ浦主任、75年4月鯛ノ浦



ダイヤモンド祝
ミカエル 道向 栄神父

1927年1月16日新上五島町生まれ。52年9月8日浦和教会で片岡哲夫師らと共に司祭叙階。54年ローマ・聖アントニオ大学学士号課程修了、57年グロッタ



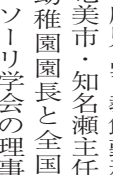
ベルナルド 冷水義美神父
(フランシスコ会)



1926年11月14日長崎市三原町生まれ。45年長崎東陵中学校卒業。旧日本陸軍へ入隊。47年修道誓願立、52年司祭叙階。58年2月南米ペルーへ日系人への奉仕に赴き、75年2月帰国。99年までさいたま教区にて奉仕。その後、福岡・高宮教会へ赴任。2011年4月から長崎修道院。

1926年11月14日長崎市三原町生まれ。45年長崎東陵中学校卒業。旧日本陸軍へ入隊。47年修道誓願立、52年司祭叙階。58年2月南米ペルーへ日系人への奉仕に赴き、75年2月帰国。99年までさいたま教区にて奉仕。その後、福岡・高宮教会へ赴任。2011年4月から長崎修道院。

1936年4月16日五島市生まれ、三井教会出身。62年3月19日司祭叙階。同



金祝
ヨゼフ 下村 徹神父



1937年3月23日五島市生まれ、堂崎教会出身。62年3月19日司祭叙階。同年4月稲佐助任、63年4月中町助任、66年8月紐差助任、68年3月久賀島・浜脇主任、71年10月大曾主任、83年3月稲佐主任、92年5月植松主任、2001年4月水の浦主任、05年4月黒崎主任、11年4月から大浦主任。



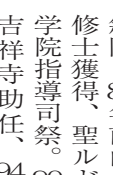
銀祝
トマス 頭島 光神父
(レネブートル会)

1955年12月18日京都生まれ。79年関西大学経済学部卒業、87年南山大学文学部神学科卒業。同年3月21日司祭叙階。91年レネ



1936年1月23日長崎市生まれ。54年から2年間、福岡・高宮にあった志願院で過ごす。56年フランシスコ会修練院(当時北浦和)に入会。66年9月中町助任、68年4月津田助任、69年4月青砂ヶ浦助任、同年9月曾根主任、78年3月水の浦主任、88年4月相浦主任、96年3月宝亀主任、99年3月三浦町主任、2007年4月から長与主任。

1957年3月25日ポランド生まれ。76年神言修道会入会、78年初誓願。80年来日。87年3月14日司祭叙階。87年南山大学院神学修士獲得、聖ルドヴィコ神学院指導司祭。90年東京・吉祥寺助任、94年西町助任・南山小学校宗教講師。2000年名古屋・南山主任、08年から西町主任・長崎南山第二学園理事長を兼務。



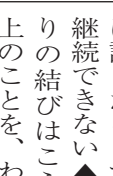
王ゲラス・ジェラ神父
(神言修道会)

1949年10月30日福岡県行橋市生まれ、新田原教会出身。中学卒業後10年間社会生活。25歳でサレジオ



ヨゼフ 古木眞理一神父
(サレジオ修道会)

1954年8月22日長崎市三原町生まれ。73年海星高等学校卒業、77年上智大



後輩の司祭に贈る言葉
大きなことは言えないので、自分自身の過去をさらけ出して贈る言葉にしたい。司祭に叙階される5日前、誕生日に、自身に課した務めを神にささげる祈りとして作成し、「時課の典礼(聖務日課)」にはさんだ。もう20年も前になる。今もこの祈りの紙ははさんでいる

「父なる神よ、わたしを聖なる司祭職にお招きくださいとを、深く感謝いたします。今日のこの1日を始めるにあたり、自分に課したことをここにあらためて表明し、奉獻いたします。」こんな形で祈りは始まっている

「父なる神よ、わたしを聖なる司祭職にお招きくださいとを、深く感謝いたします。今日のこの1日を始めるにあたり、自分に課したことをここにあらためて表明し、奉獻いたします。」こんな形で祈りは始まっている

「父なる神よ、わたしを聖なる司祭職にお招きくださいとを、深く感謝いたします。今日のこの1日を始めるにあたり、自分に課したことをここにあらためて表明し、奉獻いたします。」こんな形で祈りは始まっている

カトリック中央協議会から、2012年に司祭叙階60周年(ダイヤモンド祝)、50周年(金祝)、25周年(銀祝)を迎える方々の発表があった。司教でダイヤモンド祝を迎えるのは糸永真一司教(鹿児島)と石神忠真司教(那覇)。金祝を迎える司教は三末篤實司教(広島)。全国でダイヤモンド祝司祭は16人。金祝司祭28人、銀祝司祭25人となっている。長崎教区内ではダイヤモンド祝が3人、金祝と銀祝が各4人で、感謝と喜びに沸いている。

フェラタ聖アントニオ大学教育学卒業。その後、聖フランシスコ小神学校舎監(長崎)、北浦和修練院付き、本原助任、同主任・長崎修道院院長、宇都宮峰修道院、峰主任など歴任。82年佐野主任、84年から栃木主任を兼務。87年大田原主任、99年から長崎修道院、聖フランシスコ病院チャプレン。

1935年12月26日大阪市生まれ、三ツ山教会出身。62年3月19日大浦天主堂に

1935年12月26日大阪市生まれ、三ツ山教会出身。62年3月19日大浦天主堂に

1936年1月23日長崎市生まれ。54年から2年間、福岡・高宮にあった志願院で過ごす。56年フランシスコ会修練院(当時北浦和)に入会。66年9月中町助任、68年4月津田助任、69年4月青砂ヶ浦助任、同年9月曾根主任、78年3月水の浦主任、88年4月相浦主任、96年3月宝亀主任、99年3月三浦町主任、2007年4月から長与主任。

1957年3月25日ポランド生まれ。76年神言修道会入会、78年初誓願。80年来日。87年3月14日司祭叙階。87年南山大学院神学修士獲得、聖ルドヴィコ神学院指導司祭。90年東京・吉祥寺助任、94年西町助任・南山小学校宗教講師。2000年名古屋・南山主任、08年から西町主任・長崎南山第二学園理事長を兼務。

1949年10月30日福岡県行橋市生まれ、新田原教会出身。中学卒業後10年間社会生活。25歳でサレジオ

1954年8月22日長崎市三原町生まれ。73年海星高等学校卒業、77年上智大

1954年8月22日長崎市三原町生まれ。73年海星高等学校卒業、77年上智大



2月5日、時折冷たい雨が降る中、「日本二十六聖人殉教者記念ミサ」長崎大司教区主催、長崎南地区評議会運営が長崎市西坂公園で、約2200人の信者らの参加のもと行われた。



今年初めて鹿児島県から参加したという女性信徒は、「当時は今よりも寒かったでしょう。彼らの歩いてきた道のりを同じくたどって歩くと、寒さよりも、死にも負けない強い信仰を持った彼らのことをしのび、胸が熱くなりました」と話した。

長崎大司教区は2月6、7日の2日間、「信徒を主体とした教会づくり」と題して司祭研修会を長崎大司教館で開催した。クリスチャン時代の教会の姿(講師・片岡千鶴子修道女)や、信徒組織であつたミゼリコルディアの組(講師・片岡瑠美子修道女)などを現代化する構想、また信徒が任命されることもある「聖体授与の臨時の奉仕者」(講師・白浜満郎)について学んだ。また、各委員会の活動報告および今

後の活動方針の説明があり、情報の共有がはかられた。教区会計からは、小教区が経済的に助け合う「互助基金」の構想をはじめ、教区の課題が提示された。最後に高見大司教が講話をし、信徒発見150周年記念行事、教区代表者会議(教区シノドス)など、今後の教区の動きについて説明し、協力を要請した。また今回は初日の6日、研修会プログラムの一環

として組まれていた長崎純心大学学長の片岡千鶴子修道女による講演が、一般の方にも向けた公開講演として行われ、司祭、修道女、信徒ら約350人が会場のカトリックセンターホールに集まり、聴講した。

片岡学長は「クリスチアの潜伏と信仰伝承、なぜ潜伏クリスチアンは250年間信仰を守り通せたか」をテーマに、「教会の復活を成し遂げた」日本クリスチアン史の特色について触れるとともに、潜伏組織の形成、確立、信仰の伝承がどのように行われ、信徒発見にどうつながったかを説いた。

「父なる神よ、わたしを聖なる司祭職にお招きくださいとを、深く感謝いたします。今日のこの1日を始めるにあたり、自分に課したことをここにあらためて表明し、奉獻いたします。」こんな形で祈りは始まっている

「7月に改定される入国管理法について」 長崎教区人権委員会・難民移住移動者部門から

既に2月11日、長崎教会管区主催で九州全域の在日外国人のためのセミナーを熊本にて開催しました。例年、外国人の方々の交流と分かち合う場を提供するためにも開催されていますが、特に今年は日本の入国管理法が改定され、外国人登録法が大幅に変更されることを広く知らせるという大きな目的もありました。

今回の法改定では、これまでの「外国人登録法」が廃止され、新しく「外国人住民票制度」を始めます。日本人と同じくさまざまな手続きに住民票の提出が必要となります。住民サービスがより受けやすい利点が配慮されている形ではありますが、法務省としてはすべての外国人の動向がすべて把握できるようになるということでもあります。まずは現在の登録証に記載された住所に、所在確認の書類が郵送されます(5月7日仮住民票が送付されます)。宛先人がもろもろの理由によって住所が変更し届け出がされない場合、日本にはいないと判断され、後日ビザの更新に赴いても在留許可の取り消しとされる可能性が十分あります。しかも今後、転居転出の報告を期日の14日以内に提出していない場合、20万円以下か1年以下の懲役、最悪在留許可の取り消しとなる厳しい対応です。この制度は短期、永住、特別永住者ももちろん適用されます。施行は7月9日と決定されましたが、その知らせはあまり積極的になされていないのが実情のようです。

それで、「現住所と登録証の住所が一致していること」と「変更あれば少なくとも自治体に6月までには届け出ること」を皆さまの周りに外国人の方々がおられましたら、早めにこのことをお伝えくださいますようお願いいたします。詳細な事項もありますから下記の箇所にお問い合わせくだされば関係資料も提供します。県内には8,000人近くの外国人がおられ、日本の3カ所に設置された入国管理センター収容所の1つも大村市に存在します。ここでも個人の人生に大きく関わる重要な働きがあります。言語は多岐にわたりますが、この言語なら対応できるという方々のご協力もお願いしています。

お問い合わせ

カトリック神ノ島教会 Tel 095-865-1028
長崎教区人権委員会 川口昭人神父
カトリック東京国際センター Tel 03-5759-1061(多言語対応)

長崎コレジオ、福岡に移転

旧大司教館にある長崎コレジオの福岡移転が長崎教会管区司教会議で決まった。長崎コレジオは2015

再び家庭を振り返る④

長崎教区家庭特別委員会

本田 靖彦

伝えられた信仰のもとで

わたしが生きてきたころ、

父はこういふことを言っていました。「子供は神

さまからの預かりものなんだ。神さまから預かっ

たこの命を立派に育てる役割が親にはあるのだ」

と。子供は親の所有物ではない、子供が将来進み

たい道が見つかったら、そしてそれが神さまのお

望みなら反対はしないとも言いました。それはわ

たしが幼いときから司祭になりたいたい気持ちを伝えていたからでしょう。父

も母も亡くなった祖母も先祖から伝えられた信仰

のもとにわたしと妹を育ててくれました。

喜びを伝える

奈留教会では毎年クリスマス

マスミサの後にクリスマス会を開催しています。このクリスマス会には地

域の方々がたくさん来られます。全部で300、

400人になります。その中で気付いたことがあ

ります。それは大きい子が小さい子のお世話をし

ている様子です。教会の子供たちは、学校のお友

達を教会に招待し、一緒にクリスマスをお祝いし

ます。小教区は一つの家族です。その教会家族の

中でイエスさまと出会い、

その喜びが学校生活、家庭生活に生かされていく、それが本物の信仰ではないかと思えます。

イエスさまとの出会いの中で

家庭・学校生活が忙し

いから教会に行く時間がない、祈る時間がない。

しかし、キリスト者にとって教会に行くこと、

祈ることは生活の柱です。教会に行くことによって、

気付かされることもあるでしょう。何よりもそこ

にはイエスさまとの出会いという大きな恵みと喜

びがあります。イエス・キリストとの絆のうちに、

家庭におけるさまざまな問題解決の糸口があるはず

です。今度の日曜日は家族そろってイエスさまに会いに行きませんか。

年3月閉鎖。小神学院の卒業生は2013年4月から福岡コレジオ(仮称)で生活し、福岡の大学に通う。福岡コレジオは旧幼きイエス会福岡修道院を利用する。

やさしく踏んで強い芽育て！

浦上教会の子供たち



麦踏み挑戦

浦上教会の子供たちが、初聖体の子供たちにプレゼントできるようにと、ホスチアの原料となる小麦を十字架山(長崎市辻町)近くの畑で栽培しているが、この1月28日、「麦踏み」が行われた。昨年12月にまいた種は今年になって15センチほどの高さに成長。この日集まった約60人の子供たちは、栽培に詳しい信徒の方から「やさしく踏むことで脇から強い芽が出てきます」と説明を受け、神父、シスター、信徒らの指導のもと感触を確かめるようにして踏んでいた。麦の成



麦踏み後の畑

教区代表者会議(教区シノドス)の小教区レベルにおける準備の期間も残すところわずかとなった。どれだけ理解され、また分かち合いが進んでいるのか、当然のことだが小教区によって違いがあるようだ。今回、広報委員会は、教区代表者会議の小教区レベルにおける準備の現状について集まってきた情報を整理し提示したい。これによって、教区代表者会議の理解を深める一助となることを望みたい。(広報委員長 下野英知)



2014年、 教区代表者会議 (教区シノドス)に向けて

分かち合いの困難さ
地区集会の習慣がある所では比較的進んでいるが、そうでない所では、分かち合いをすること事態に難しさがある。地区集会にこだわらず、今ある活動グループや委員会ごとに分かち合いをしていく小教区もある。

「なんの意味があるのか」という意見がある一方、「分かち合い」という信仰行為の浸透も見られる。

出された意見の行方
アンケートやそれに基づき分かち合いで出された信徒の思いや意見が今後どのように取り上げられるのか、その行方に関心が集まっている。これらの意見の積み上げから、新しい時代に向けた改善点や今後の教区の方針が生まれることになる。新たな教区づくり、信徒の積極的な参加が求められている。

長崎純心聖母会 誓願式

2月11日、長崎市三ツ山町にある長崎純心聖母会では、高見三司大司教司式により初誓願式が行われた。司祭、修道者、家族、関係者らが多数参加し、祈りをささげた。

〈初誓願宣立者〉
マリステラ
吉浦菜奈
(長崎・褥崎)

ジャンヌ・ダルク
中野春香
(東京・潮見)
イザベリナ
坂下幸子
(長崎・滑石)

いぶき園

▼イエズス会立山修道院
お知らせ ●祈りの一日
①3月5日(月) ②3月17日(土) ③3月19日(月)
10時~15時半 ●祈りの日々
①3月10日(土) ②3月17日(土) ③3月18日(日)
④4月5日(聖木曜日) ⑤8日(復活の主日) ④4月10日(火) ⑤4月14日(土) ⑤4月15日(日)
初日17時~最終日15時
Tel 095(821)4577

▼長崎教区青年黙想会
3月11日(日)10時~16時
長崎大司教館 テーマ「結婚の秘跡について」
参加費千円 ※昼食は各自準備。教区青少年

委員会主催
問合先・大野教会(工藤秀晃神父)
Tel 0956(49)3608
▼東日本大震災一周年にあたり追悼と再生を願う合同祈禱集会 3月11日(日)16時 浦上教会
▼信徒発見ミサ 3月17日(土) 大浦天主堂
▼助祭・司祭候補者認定式 3月18日(日)10時 田平教会
▼聖香油ミサ 4月3日(火)10時半 浦上教会

香典返し お礼とご報告

長崎カトリック神学院
●加賀江マスエ様(浦上) 故マリア加賀江京子様
右の方から神学生養成のために香典返しに代えてご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げますとともに故人のごめい福を心からお祈り申し上げます。

(医) 外尾内科医院

院長ベトロ 外尾明利
〒857-1152 佐世保市黒髪町34-4
TEL 0956-33-5557

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社 西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 寛己
本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地
TEL (0956) 31-8268

墓地・納骨堂 分譲中

高尾・本原・石神・江平・坂本 他
現地ご案内致します

なが さき せき ちょう

長崎石彫

ヨゼフ 岩永 博明
長崎市梁川町6-17 岩永ビル
☎(095)862-2469

白蟻調査無料・駆除工事5ヶ年保証付
白蟻防除施工士

大田白蟻研究所

代表者 マリア 大島 睦子
(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号
会長崎 095-822-8436
FAX 095-822-8488



主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二
長崎市辻町7-18 TEL(095)844-4011
24時間営業 FAX(095)843-9896

第6回召命祈願ミサ 一大浦天主堂

1月27日、第6回召命祈願ミサが高見三明大司教司式のもと大浦天主堂で行われ、神学生、その家族、信徒らが集まり共に祈りをささげた。



今回説教を担当した峰徳美神父(大浦教会)は、「わたしが神学院に惹かれたのは神学生たちの神々しい姿に憧れたからです。毎日



の朝晩の祈りなどの小さな祈りに支えられ、また多くの人に養われてきま

クリスマス募金

昨年12月から今年1月15日にかけて長崎教区評議会が協力を呼び掛けたクリスマス募金は、この1月末日現在の集計で507万1951円となり、同評議会は、支援のために国内外の被災地などへ送金した。今回の支援先は次の通り。

▼長崎ホームレスを支援する会 50万円▼長崎ダルク 50万円▼福岡美野島司牧センター 50万円▼東京シェルター山友会 50万円▼大阪旅路の里(釜ヶ崎) 50万円▼東日本大震災支援 50万円▼フィリピン台風および鉄砲水災害支援 50万円▼タイ大洪水支援 50万円▼ソマリア飢饉支援 50万円。

一菜募金

「償いの日(金曜日)」に一食の一菜を犠牲にして寄せられる「一菜募金」。



「元氣なうちに故郷を手伝いたい」 東日本大震災後、被災地と長崎を往復し支援する 五十嵐 廣さん



昨年3月11日、地震速報を聞いた時、「大変なことが起こった」と郷里・福島県郡山市にある実家やきょうだいたちのことが頭をよぎった。「ぜひ行つて何かしてやりたい」。そのころ、小教区評議会議長や教会学校の取りまとめ、中学校の宗教担当などを務めていた

が、3月末ですべて退き、長崎と福島を往復しての支援活動を始めた。高校卒業まで過ごした郡山市。崩れ落ちた土蔵の壁や瓦の後片付け、役所への申請手続きの手伝い。また、高年齢者が多いため介護施設への訪問や送迎、通院や買い物などの世話を続けた。1カ月ほど福島に滞在し長崎に帰るといった生活を繰り返す。「福島県は、地震・津波災害だけでなく原子力発電所が問題。避難を余儀なくされている原発近くの人たちは今後の生活がどうなるかと戸惑っている。新米からは放射能セシウムが検出され、一部を初めて目の当たりにした。」「ニュースとかで見ても、悲慘な状態にあらためて驚きました。そこに立った時、急に涙が出てきて。時折やさやかな交流ができてよかったです」

「いつまで支援できるかわかりませんが、しばらく続けたい。キリスト教の根本は愛。そういうものを実現しようと。もちろんそれは長崎でもできることです。が、何より自分の生まれ故郷を、自分が元氣なうちに手伝いたい」

福島に滞在の折は、高2の時に受洗した郡山教会で聖書勉強会にも参加している。健康維持と趣味を兼ねて朝晩は毎日、阿武隈川沿いの道を1時間ずつ歩く。

元聖マリア学院校長、城山教会所属。75歳。

みことばにふれて

岩崎康彦神父
(福岡県・今村教会)



カット・山之内桃子さん
(大加勢教会、小3)

「人は、たとえ全世界を手に入れても、自分の命を失ったら、何の得があるのか。自分の命を買い戻すのに、どんな代価を支払えようか」(マタイ16章26節)

めならば、たとえ自分の意にそぐわぬとしても、より「力」のもとに群れようと実に忙しい。しかし、わたしの主任

ば、すべてを投げ出し、お仕えすることを喜びとなさいました。あるいは、きれいな事に聞こえるかもしれせん。では、1つ

は、ある日の主任司祭との会話を忘れません。やがて歳をめされ、老いた主任司祭は「早よ、マリアさまにお願いして、呼んでもらわねばな」とぼつり。わたしには「早く天国へ、神さまのみもとへ帰りたいものだ。そう聞こえました。同感です」。やはり、愚か者は何の苦勞も犠牲もしていないのに、そううそぶいたのです。

1月18日、五島市三井楽町みみらくの里にて帰天。96歳。



アガタ道向ヨ子修道女
(お告げのマリア修道会)

この世の行動原理の根底にあるものは、おそらく、「損得勘定」でありましょう。また、その先にあるものは、おそらく「全世界を手に入れたい」とする愚かな我、そして欲なのです。

そこで、人は損を嫌いで、できれば他人のふんどしで相撲をとろうとしたり、自分の身の安泰のためなら

司祭は、そんな「世の人」ではありませんでした。彼にとつての一番は常に神の御子イエズスさま。この一番の方のためなら

の打ち明け話をいたしまししょう。この方は清貧であられました。眼鏡の縁が折れても、ビニールテープで

きものとし、信者には一切負担を求めず、最高のものを最高になさいました。出来のわるい助任司祭

子どもたちと共に主日の福音を「こじか」2012年度の案内

いつも神さまがそばにいてくださると、すべての子どもたちに感じてほしい。そんな願いを込めて、『こじか』は福音の種をまき続けています。子どもたちの身近な事柄を題材にして語り掛ける福音解説を中心に、4月からさまざまな企画で新年度がスタートします。

「こじか」の中心となる福音解説は、子ども向けにやさしく、かつ、子どもたちに伝えていきます。また、『こじか』の中心となる福音解説は、子ども向けにやさしく、かつ、子どもたちに伝えていきます。

マイホームの美容と健康に!
(有) 山 川 塗 装
有限責任中間法人 全国住宅火災防止協会
長崎県建物営繕工事業協同組合理事
代表取締役 **ペトロ 山川 進**
佐世保市原分町1715-5
TEL(0956)49-3330 FAX(0956)49-8729

ハマチ・タイ養殖、アジ・イワシ加工、中型旋網
エテルナ・ワコー(株)
代表取締役 **ミカエル 溝口 美義**
〒858-0926 佐世保市大湊町586
TEL(0956)47-4380

当社オリジナル商品
一筆箋(教会編) 定価350円(税込)
各種印刷物のお見積り無料です。お気軽にご相談下さい。
九州印刷株式会社
代表取締役社長 **トマス 川原 保夫**
〒852-8103 長崎市緑町4-5
TEL(095)846-6844 FAX(095)846-6845

タンスの中身は入れたまま
責任ある安全運送!!
(見積り無料・荷造り発送も致します)
水浦運送
シモン 水浦 幹雄
長崎市上野町12-3
TEL(095)49-847-7151
844-1420

ご先祖に心より感謝を・・・
材石治明
長崎本店 長崎市民霊園内 電話 (095) 846-3598
大村店 大村市民霊園内 電話 (0957) 50-3008

交通誘導警備 常駐警備 イベント警備
(有) 小田 警 備 保 障
警 備 員 募 集 !
電話 095-856-6524 FAX 095-856-6523
長崎市横尾3丁目31-15 代表取締役 **パウロ 小田 睦**